

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和4年度 第2回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和4年7月13日(水) 19:00~20:10
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 退院支援・医療介護連携部会の報告 2 在宅医療コーディネーター部会の報告 3 多職種連携研修部会の報告 4 ICT 部会の報告 5 在宅医療支援センターの報告 6 その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	17人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、北代委員、香西委員、田中邦委員、田中昌委員、辻委員、永岡委員、中村委員、橋本委員、花房委員、林委員、古川委員、松本委員、三橋委員、和田委員
関係者	その他：医師会（伊藤会長、和田副会長、香西副会長、西口理事、塩見理事、井垣理事、香川理事） 市医師会事務局（4人）
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

協議経過及び協議結果

(A 委員より説明)

○6月の医師会の改選により、在宅・病診連携部会のメンバーの変更、追加があった。

1 退院支援・医療介護連携部会の報告

(Q 委員より、6/17 開催：第2回部会の報告を行った。

【5/14：第1回ミーティングについて】

(A 委員)

・DNAR プロトコルについては、今後も引き続き周知の徹底が必要である。新聞記事に掲載された後、西日本放送から Zoom で取材を受け、今後、特集番組として放送予定である。

・コロナ対策として、医師会で開催している MAC の会は、先日 17 回目で終了した。その総括として、高齢者施設のクラスターに関する研修会を、7/21 にハイブリッド形式で開催する。

- ・申し込みやアンケート回答が、まだ少ないので申し込みをしてほしい。
- ・10/15(土)：第2回目のミーティングを開催予定で、テーマ、内容は今後部会で決定していきたい。
- ・診療報酬改定に関する周知等についても協力をお願いしたい。

2 在宅医療コーディネーター部会の報告

(C 委員より説明)

- ・これから部会等開催して、研修を行っていく予定である。コロナに関する講師をお願いするのはどうかと考えている。講師の希望等あれば意見をいただきたい。

(A 委員)

- ・8月下旬頃から募集開始して、養成研修やスキルアップ研修を行いたい。ACPの啓発などしていきたいと考えている。
- ・現在、香川県地域包括ケアシステム学会では「通いの場」、高松市では「居場所づくり事業」で、それぞれの分野から専門職を講師として派遣する事業を考えている。
- ・「居場所づくり事業」の中でACPの啓発を行っていきたい。在宅医療コーディネーターの中から希望した居場所へ派遣する。定期的で開催されれば、在宅医療支援センターが行う講座に講師として行ってもらうことはどうか。在宅医療コーディネーターに交通費の支出について県へも問い合わせたが、養成のためにしか使えない。高松市の「居場所づくり事業」でDNARの啓発としても活用したいと考えている。

3 多職種連携研修部会の報告

(B 委員より説明)

- ・次回の親会から、部会を開催していきたい。講師やテーマ、内容についてアイデアをいただきたい。

4 ICT部会の報告

- ・「在宅ケア便利ナビ」「在宅医療介護情報サイト」の情報更新について

(A 委員)

- ・MCSを進めていきたい。
- ・メドレー社(コロナの在宅療養にはこちらを利用)、MCS(無料のものもできている)
- ・S委員と相談しながら進めていってほしい。

5 在宅医療支援センターの報告

- ・在宅医療支援センターより、5・6月の活動報告を行う。

《5・6月分》【相談件数】 5月：10件 6月：13件

《相談事例紹介》 5月分の事例から紹介

(長寿福祉課より説明)

- ・6月末で相談員が1名退職し、欠員補充のため1名募集している。

6 その他

【循環器病対策基本法による、脳卒中や心臓病等に対する取り組みについて】

(B 委員)

香川県循環器対策推進協議会の脳卒中部会(部会長：香川大学脳神経外科)の事業の一つとして、脳卒中の地域連携パスの見直しを行うこととなった。香川シームレスケア研究会、高松・東讃シームレスケア研究会と一緒に、在宅・施設を含めた関係者が集まり、広く地域連携の検討を行うために、ワーキンググループを立ち上げることとなった。そのメンバーを推薦していただきたい。

(A 委員)

慢性心不全等の問題は非常に大きい。この会議では、入退院支援ルールの作成や香川シームレスケア研究会とも関わっている委員がいるので、ワーキンググループのメンバーを出したい。

- ・ 松本委員、橋本委員、香川理事(医師会)を選出した。

【12/18 開催 香川県地域包括ケアシステム学会について】

(A 委員)

- ・ 学術集会で、2題発表する予定で、エントリーした。内容は、在宅医療支援センターの活動報告、入退院支援ルールについてである。在宅医療支援センターは、多くが医師会の中に設置されており、在宅医療を行っている関係者からの相談に応じているが、高松市の場合は、長寿福祉課内に設置し、一般市民からの相談にも応じており、望むべき姿ではないかと思っている。また、入退院支援ルールと情報共有シートは、県内では一番最初に作成した。今後、この発表について、シリーズ化したらどうかと考えている。

【地域包括支援センター委託モデル事業について】

(地域包括支援センターより説明)

- ・ 令和5年1月～、サブセンター香川(香川総合センター内)でモデル事業を予定し、現在、その委託する法人を公募している。令和6年度までを予定しており、実施後は検証を行う予定である。
- ・ 実施主体は、高松市であり、運営を委託することになる。

【参考】 令和4年度第2回在宅医療介護連携推進会議報告書

【次回の会議】 11月9日(水) 19:00～ 高松市医師会館